

道徳 1年生 学年通信 7月号

平28①保護者宛第21号
平成28年7月19日
熊谷市立妻沼西中学校

学年の道徳の目標

- ・望ましい生活習慣を身につける。
- ・互いの良さを認め合い、助け合って行動できる。
- ・自ら決めたことを最後までやり抜く強い意志をもつ。

各クラスの道徳

子供達の感想です

「心のつながり」(主題 友情を深めるには)

- * 授業前は友情の関係は遊ぶことだと思ってたけれど、授業後は信頼も友情なんだなと思いました。
(深澤海斗さん)
- * 授業を始める前はケータイで話すいろいろな事が言えて楽しいとか思っていたけれど授業後はしっかり目と目を合わせて話をした方が楽しいなと思いました。
(多賀谷昂生さん)
- * 私もとても仲の良い友達に言いたいことがあっても言わないのですが、「心のつながり」の授業を通してはっきりと相手に言うことは大切なことがわかりました。
(中里明理沙さん)
- * 友情を深めるには、友達に言いづらいことも言わないといじめにつながってしまうと思いました。
(鈴木涼介さん)
- * 声と言葉できちんと話した方が良かったと思った。ケータイがなくても友情は変わらないと思った。
(八田涼平さん)

「涼風」(主題 思いやりの心)

- * 僕は思いやりの心があれば、きっとお互いの気持ちや人を笑顔にさせる効力があることがわかりました。そして思いやりの心を持ちたいと思います。
(井田隆斗さん)
- * 電車で自分の前に老人がいたら席を譲ろうか譲らないか迷ったと思いました。でも授業後は、すぐに譲ろうと思いました。
(村山咲来さん)
- * 電車の中にいた人みたいに優しい心を持って僕も席を譲ったり親切にしていきたいと思いました。
(長島颯汰さん)
- * イライラなどしていても思いやりの心があれば素直になることができ、笑顔が自然に出ることが分かった。
(坂本夕弥さん)
- * いいことをすればやった本人だけでなく、周りの人々も良い気持ちになるから、次からこういうことがあったら自分もやろうと思った。
(隈元悠宇さん)
- * この道徳で学んだことは、もしも電車やバスで困っている人やお年寄りがいたら譲ってあげたり声をかけることが大切だということです。どんないやなことがあっても思いやりのあるたった一言でみんなが笑顔になれるのだと思いました。
(伊藤 礼さん)



保護者の皆様へお願い『子ども達に経験をさせてください』

子ども達に家庭での役割(お手伝い)を持たせてください。何か一つ決まった仕事を子どもに与えてください。例えば、玄関の掃除、食事の後片付け、トイレの掃除、お風呂の準備など、生活の中で毎日実施できるものが理想です。毎日の仕事にすることで子ども自身がその仕事に対し考えます。どうやったら効率よく仕事ができるか、どの時間でその仕事を行えば良いのか。その考えるという過程が子どもの道徳的な心を培っていきます。「仕事を任せる」事が子どもの成長につながるのです。「我が家の〇〇宣言」の中ですでに実施されている御家庭もあります。夏休み明けにどのような仕事をしたのか子ども達に聞きたいと思います。御協力お願いします。

9月の道徳の予定

- ・五色桜(主題 郷土のために)
- ・おぼれかけた兄弟(主題 生命の尊重)
- ・「ありがとう」に出会いたくて(主題 人々の温かさに感謝する)
- ・キャッチボール(主題 公共のルール)

この通信をご覧になったの感想や御家庭での実践の様子をお気軽にお書きください。返信欄は切り取ってお子様を通して担任まで御提出ください。

き り と り

返信欄